



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 河西工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7256 URL http://www.kasai.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 邦幸
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務役員 (氏名) 半谷 勝二 (TEL) 0467-75-1125
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	152,709	△9.5	4,874	△32.2	5,492	△29.3	1,368	△55.8
2019年3月期第3四半期	168,703	1.4	7,192	△37.2	7,770	△35.1	3,095	△50.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 579百万円(△81.7%) 2019年3月期第3四半期 3,169百万円(△63.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	35.38	35.38
2019年3月期第3四半期	80.13	80.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	153,436	67,705	38.8
2019年3月期	143,287	70,150	43.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 59,549百万円 2019年3月期 61,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2020年3月期	—	18.00	—		
2020年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	△9.8	6,300	△39.8	6,500	△41.3	2,700	△40.5	69.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期3Q	39,511,728株	2019年3月期	39,511,728株
2020年3月期3Q	818,483株	2019年3月期	832,433株
2020年3月期3Q	38,690,670株	2019年3月期3Q	38,628,065株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注)「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)」が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております。(2020年3月期3Q155,429株、2019年3月期155,429株)

また、「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2020年3月期3Q155,429株、2019年3月期3Q155,429株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中通商交渉の一部合意やEU離脱問題などの一部に状況緩和の動きがみられるものの、米国とイランの対立激化、中東情勢の緊迫化による原油価格の急騰など、先行き不透明な状況が続いております。米国では、雇用・所得環境は引き続き好調を維持しておりますが、製造業においては米中貿易摩擦による輸出の伸び悩みが見られました。中国では、インフラ投資は堅調に推移しながらも、米中貿易摩擦の影響は続いており、米国向け輸出の減少や個人消費の悪化により景気の減速が継続しております。その他アジア新興国も米中貿易摩擦の影響を受け、成長は鈍化しております。欧州においては、ユーロ圏では、個人消費が底堅く推移するも、英国のEU離脱によるFTA交渉の先行きが懸念事項となり、成長は減速傾向となりました。

我が国経済においては、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加がみられるものの、海外景気の減速により引き続き輸出の低迷や製造業の生産伸び悩みが見られます。

当社グループの関連する自動車業界では、米国市場の新車販売はピックアップトラック、SUVなどライトトラックの販売が堅調を維持しておりますが、乗用車の販売低迷により全体では減少傾向が続いております。中国市場では米中貿易摩擦、排ガス基準の切替、新エネルギー車補助金減額などの影響を受け、全体の販売台数は減少しました。欧州市場の自動車販売は、英国情勢の影響で英国、ユーロ圏ともに販売減少が続いております。日本市場では、前年同期と比べ新車販売台数は増加しております。

このような経営環境の中で、当社グループではグローバル市場における自動車内装部品企業としての地位を確立すべく、製品開発力・技術力の強化を図り、海外を含む取引先への拡販を積極的に進めております。これらの活動の成果として、『1 STEP成形工法 縫製加飾ヘッドライニング』がモノづくり日本会議/日刊工業新聞社が主催する「2019年”超”モノづくり部品大賞(モビリティ関連部品賞)」を受賞いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、北米及び中国地域の伸び悩みや米国会計基準を採用している子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用したことにより、買戻し契約に該当する有償支給取引について売上と原価を相殺表示した影響もあり、1,527億9百万円と前年同四半期に比べ159億93百万円の減収(△9.5%)となりました。営業利益は、新車立上げ準備費用の増加や、新拠点設立費用の影響により、48億74百万円と前年同四半期に比べ23億17百万円の減益(△32.2%)となりました。経常利益は54億92百万円と前年同四半期に比べ22億78百万円の減益(△29.3%)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億68百万円と前年同四半期比17億26百万円の減益(△55.8%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本では、輸出車種や高級乗用車の減産影響により、売上高は482億40百万円と前年同四半期比72百万円の減収(△0.2%)となりましたが、セグメント利益は、新規車種の立上げ効果や前年同四半期に比べ立上げ準備費用の減少もあり4億24百万円(前年同四半期比6億83百万円の増益)となりました。

(北米)

アメリカ市場でのSUVへの需要シフトによる乗用車需要の大きな落ち込みにより、当社受注車種も減産影響を受けております。また、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用したことにより、売上高が73億69百万円減少しております。この結果、売上高は628億35百万円と前年同四半期比113億78百万円の減収(△15.3%)となり、セグメント利益は新車関連費用の増加により、7億39百万円と前年同四半期比5億64百万円の減益(△43.3%)となりました。

(欧州)

欧州では、新拠点立上げにより、売上高は121億46百万円と前年同四半期比9億36百万円の増収(+8.4%)となりましたが、生産準備費用の増加や受注車種の生産終了もあり、セグメント損失は14億47百万円(前年同四半期は4億82百万円のセグメント損失)となりました。

(アジア)

中国地域での新車販売の伸び悩みにより、売上高は294億88百万円と前年同四半期比54億79百万円の減収(△15.7%)となり、セグメント利益は52億77百万円と前年同四半期比14億86百万円の減益(△22.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は1,534億36百万円と前連結会計年度末に比べ、101億49百万円の増加(+7.1%)となりました。この主な要因は、仕掛品が53億89百万円増加、有形固定資産が19億2百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は857億31百万円と前連結会計年度末に比べ、125億94百万円の増加(+17.2%)となりました。この主な要因は、短期借入金が増加し97億88百万円増加、支払手形及び買掛金が24億円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は677億5百万円と前連結会計年度末に比べ、24億44百万円の減少(△3.5%)となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が18億98百万円減少、非支配株主持分が3億98百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想につきましては、2019年11月8日に公表いたしました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,441	20,904
受取手形及び売掛金	28,117	28,721
製品	992	1,340
仕掛品	8,973	14,362
原材料及び貯蔵品	5,871	5,345
その他	4,191	6,202
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	68,588	76,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,126	46,528
減価償却累計額	△22,358	△23,118
減損損失累計額	△581	△576
建物及び構築物（純額）	21,186	22,834
機械装置及び運搬具	74,234	74,447
減価償却累計額	△50,669	△53,021
減損損失累計額	△905	△852
機械装置及び運搬具（純額）	22,660	20,573
工具、器具及び備品	28,929	30,698
減価償却累計額	△23,708	△25,186
減損損失累計額	△55	△54
工具、器具及び備品（純額）	5,164	5,457
土地	7,469	7,464
建設仮勘定	6,651	8,705
有形固定資産合計	63,131	65,034
無形固定資産		
のれん	521	761
その他	802	705
無形固定資産合計	1,324	1,467
投資その他の資産		
投資有価証券	7,302	7,389
その他	2,947	2,676
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	10,242	10,059
固定資産合計	74,698	76,560
資産合計	143,287	153,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,394	24,794
短期借入金	13,923	23,712
未払法人税等	1,112	650
賞与引当金	1,237	1,019
その他	10,790	13,264
流動負債合計	49,457	63,441
固定負債		
長期借入金	18,869	18,385
退職給付に係る負債	775	266
その他	4,034	3,638
固定負債合計	23,679	22,289
負債合計	73,136	85,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,868	5,876
利益剰余金	52,012	51,983
自己株式	△541	△535
株主資本合計	63,160	63,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,009	1,897
為替換算調整勘定	△3,590	△5,489
退職給付に係る調整累計額	10	△3
その他の包括利益累計額合計	△1,570	△3,595
新株予約権	5	—
非支配株主持分	8,554	8,155
純資産合計	70,150	67,705
負債純資産合計	143,287	153,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	168,703	152,709
売上原価	147,325	133,535
売上総利益	21,378	19,174
販売費及び一般管理費	14,186	14,299
営業利益	7,192	4,874
営業外収益		
受取利息	217	233
受取配当金	170	146
持分法による投資利益	206	191
為替差益	65	—
補助金収入	90	504
その他	124	154
営業外収益合計	875	1,230
営業外費用		
支払利息	283	415
為替差損	—	180
その他	13	17
営業外費用合計	296	613
経常利益	7,770	5,492
特別利益		
固定資産売却益	7	8
投資有価証券売却益	30	—
新株予約権戻入益	—	2
特別利益合計	37	11
特別損失		
固定資産売却損	2	4
固定資産除却損	27	246
災害による損失	27	—
その他	2	—
特別損失合計	60	251
税金等調整前四半期純利益	7,748	5,251
法人税、住民税及び事業税	2,860	2,091
法人税等調整額	△13	122
法人税等合計	2,847	2,214
四半期純利益	4,901	3,037
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,805	1,668
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,095	1,368

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,901	3,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△855	△112
為替換算調整勘定	△896	△2,204
退職給付に係る調整額	85	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△64	△126
その他の包括利益合計	△1,731	△2,457
四半期包括利益	3,169	579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,696	△655
非支配株主に係る四半期包括利益	1,473	1,235

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、Kasai (Germany) GmbHを新規に設立し、第2四半期連結会計期間においては、武漢河達汽車飾件有限公司を新規に設立し、連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間においては、広東河澤汽車飾件有限公司を新規に設立し、持分法適用の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益 (ASC第606号) の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社において、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

ASC第606号の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識することが求められており、適用にあたっては遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,369百万円減少しております。なお、期首の利益剰余金、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,312	74,213	11,209	34,967	168,703	—	168,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,597	4	577	558	8,737	△8,737	—
計	55,910	74,217	11,787	35,526	177,441	△8,737	168,703
セグメント利益又は損 失(△)	△259	1,304	△482	6,763	7,326	△134	7,192

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△134百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,240	62,835	12,146	29,488	152,709	—	152,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,826	9	164	447	6,448	△6,448	—
計	54,066	62,844	12,310	29,936	159,158	△6,448	152,709
セグメント利益又は損 失(△)	424	739	△1,447	5,277	4,993	△118	4,874

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△118百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)

会計方針の変更に記載のとおり、当社グループの米国会計基準を適用している在外連結子会社は、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用しております。

この結果、従来の方法に比べ、北米セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は7,369百万円減少しております。なお、セグメント利益又は損失(△)に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。